

# かとうまちかどトピックス



市のイベント等はSNSでも発信中です！このページではご紹介できなかったイベントの記事も随時掲載していますので、ぜひご覧ください。いいねとフォローもよろしくお願いします！



## アート館前に巨大トリックアート



加東アート館の入口前に、巨大なトリックアートを3作品設置しました。

加東アート館や周辺施設には親子で来場される方が多いことから、3作品とも年齢を問わず親しみやすい「童話」をモチーフとした作品となっています。

お立ち寄りの際は、ぜひご家族や友人同士で写真を撮ってお楽しみください。

## 気分はおひなさま 十二単着付体験



2月19日、にぎわい交流施設halKで、十二単の着付け体験会と雛飾り作り体験会が催されました。

十二単を着た子どもたちは、保護者らが向けるカメラに向けて笑顔でポーズをとっていました。

体験を終えたお子さんに話を聞くと、「ちょっと重かったけど、キラキラの服で嬉しかった。」と話してくれました。

## 蟬川プロ、附属小でゴルフ講習会



3月2日、加東市出身のプロゴルファー蟬川泰果選手が、母校である兵庫教育大学附属小学校を訪問。児童らを対象にスナッグゴルフの講習会や夢についての講話を開き、一流の技と上達の心得などを指導されました。

講習後、児童らに将来の夢を尋ねると、研究者やアイドル、漫画家などさまざまな声が上がリ、蟬川プロは「みんな立派な夢を持っていてすごいと思います。僕も四大メジャー制覇という夢があるので、一緒に頑張らしましょう！」とエールを送られました。

## 乾杯まつり3年ぶり会場開催 笑顔で乾杯



3月7日、社中央公園ステラパークで、加東市山田錦乾杯まつりを開催しました。

過去2年間はオンラインでの開催となりましたが、10周年を迎える今回は、過去最多となる20歳が全国から参加、計73銘柄が会場に集いました。

トークショーに出演された加東市産山田錦PR大使で酒場詩人の吉田類さんは、日本酒を飲み比べながら、「山田錦には魔法の力がありますね。」と絶賛。

会場には多くの方が訪れ、片手に日本酒、片手におつまみを持ってまつりを楽しまれていました。

## 社高校生考案「鮎のぼりキーホルダー」完成



闘竜灘のイベント等で飾っている「鮎のぼり」を模したキーホルダーが2月に完成しました。

鮎のぼりキーホルダーは、昨年2月、市に対して社高校の1年生から加東市の知名度向上のアイデアとして発表された案が実現したものです。

この提案をした原さん、山添さん、西山さん、田畑さんの4人は「本当に形になってびっくりしました。」と驚きながらも、アイデアの実現を喜ばれていました。

今後このキーホルダーは、観光イベントの景品として配布する予定です。

## 人型の大根が温泉客をお出迎え



3月2日から1週間ほど、滝野温泉ぼかぼのフロントに人の形をした珍しい大根「ぼかぼ大根」が展示され、利用者を和ませました。

この大根は、ぼかぼで清掃業務をされている樹梨さんが自宅の畑で偶然収穫したもので、顔を書いて可愛くアレンジされ、しなびるまでの数日、ぼかぼのマスコット「ぼっぼちゃん」のぬいぐるみと並んで飾られていました。

しなびてしまった後は樹梨さんが持ち帰り、味噌汁にして美味しくいただいたとのこと。

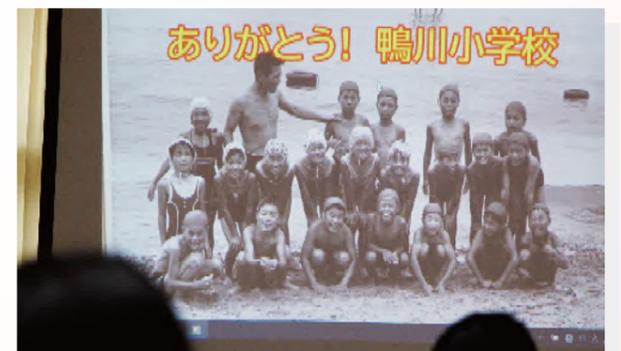
## 志新たに 播看護専門学校42期生卒業



3月8日、加東市地域交流センターで、播磨看護専門学校42期生の卒業証書授与式が開催され、27名の卒業生が医療現場へ新たな一歩を踏み出されました。

式典で、金岡校長は「患者さんに信頼される看護師になってください。」と激励。卒業生代表の岸田さんは3年間の出来事を振り返り、途中涙ぐんで言葉を詰まらせながらも「この学校で得た学びと誇りを糧に、これからも自分たちの道を歩んでいきます。」と晴れやかな決意を述べられました。

## 鴨川小で思い出動画を上映



令和7年3月末に閉校し社地域小中一貫校に統合される鴨川小学校で、3月9日、鴨川小の昔の写真や卒業生へのインタビューをまとめた動画「鴨川小の思い出」の上映会が開かれました。

「閉校しても思い出を未来に残したい」と鴨川小の5・6年生が中心となって動画を作成。卒業生へのインタビューでは、現在はなくなってしまった記念植樹の桜の話など、当時の貴重なお話がありました。

動画を見た方は「閉校は寂しいですが、思い出が詰まった映像を見て心が温まりました。」と話されました。